

一時保存機能を上手につかう！

手間のかかっていた「パブリッシュ」時間を短縮できます。

ただ「一時保存」にするとそれらを反映するまでプレビュー画面での確認は出来ません。

①アップデートをすると、各モジュールに「一時保存」というボタンが追加されます。

記事モジュールType01 (画像左)

基本設定 詳細設定

詳細設定パラメータの設定:
下記より、パラメータの設定が行えます。

項目名称	設定値
13 モジュール:ボーダー(左)	solid
14 モジュール:ボーダー(右)	none
15 モジュール:ボーダー(色)	#cccccc
16 モジュール:ボーダー(幅)	1px
17 モジュール:背景(色)	
18 モジュール:背景(画像)	
19 モジュール:背景(画像開始位置(水平))	left
20 モジュール:背景(画像開始位置(垂直))	top
21 モジュール:背景(画像繰り返し)	no-repeat
22 画像(イメージ):マージン(上)	0px
23 画像(イメージ):マージン(下)	15px
24 画像(イメージ):マージン(左)	0px
25 画像(イメージ):マージン(右)	15px

編集

一時保存 キャンセル 保存

②従来では、作業後「保存」を押して「パブリッシュ」がかかってプレビューで確認という流れだったと思います。

便利に使うには、該当記事の「一時保存」→該当記事の「一時保存」、「再構築」してからプレビュー確認という形になります。

※「再構築」をしないと一時保存の状態が反映されません！

毎回のパブリッシュを省き、最後に一括でパブリッシュをかけることで、作業時間の短縮が見込めます！一時保存機能のあるモジュールは、これを有効活用しましょう！